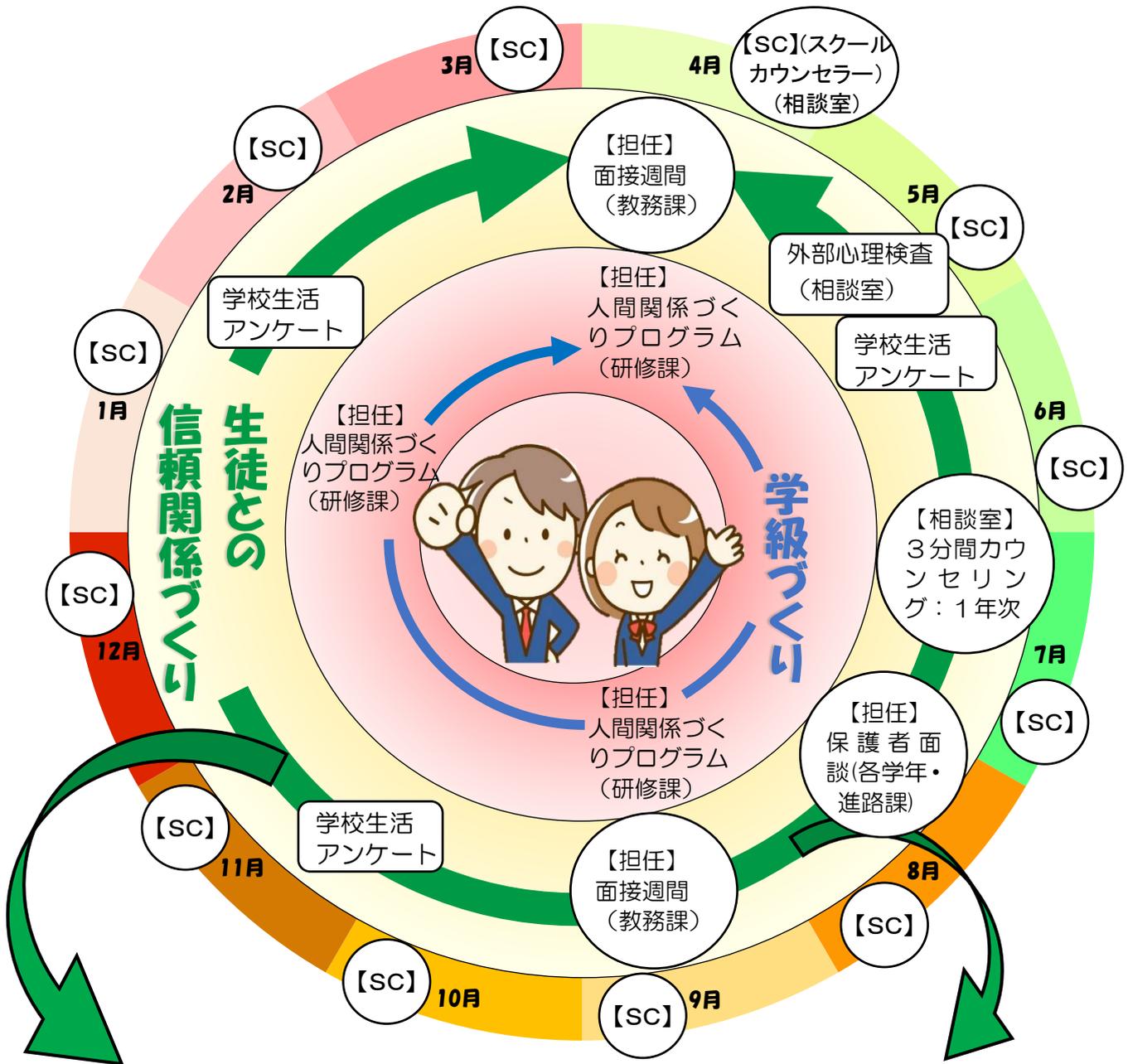


全ての生徒が安心して生活できる学校づくりを目指して  
 ー生徒の思いに寄り添う教育相談を通した信頼関係づくりー

○ ○ 商業高校教育相談体制

【 】 は実施者、( ) は担当課



全ての教員による  
 日常的な生徒との信頼関係づくり

〈言葉掛け〉SHRや授業、部活動、清掃活動など全ての学校生活を通して行う。

- ①呼名をしてあいさつ「〇〇さん、おはよう」
- ②現状を気遣う「調子はどう?」「どうしたの?」
- ③承認「〇〇がよく分かっているね」
- ④励まし「〇〇さんならできるよ」
- ⑤その生徒の成長が見られたこと、がんばったことを認める。 など

〈自発相談の推奨〉生徒に対して相談窓口の紹介や自発相談やSCの活用を呼び掛ける。

教員間の信頼関係づくり

- ①各担当課は、実践状況を確認し、気になる生徒の情報を担任・学年部と情報共有する。
- ②全職員で全生徒を支える教育相談体制づくり。

・ **ちょっとタイム**：教員間で行っている短時間・随時の相談や情報交換の機会。

・ **チーム支援を考える機会の推進**：  
 学年主任は、報告を受けた気になる生徒について、学年部や関係職員などのチームで支援策を検討する機会を積極的に設ける。